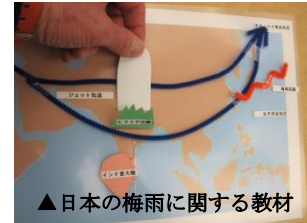


おすすめ!! ジオパークで学ぶ「持続可能な開発のための教育」

滝の頭湧水などを題材に「地球の水資源」を学ぶ

ジオパークにおける「持続可能な開発のための教育」が注目されるようになってきました。これは 2015 年に世界ジオパークがユネスコの正式事業化されたことや国連の SDGs(持続可能な開発目標)の運動が浸透してきたことが背景にあると思われます。ジオパーク学習センターでも以前から「持続可能な開発のための教育」を一部取り入れてきましたが、最近これらに対応した新たな教材を作成し教育内容を充実させました。ジオパーク学習センターで行う「持続可能な開発のための教育」は水をテーマとし、男鹿半島の滝の頭湧水や一ノ目潟の湖水に着目し、そのできかたや人々との関係、先人たちの知恵を学ぶとともに、地球を視野に入れて水資源について学びます。自分たちの生活からグローバルな世界まで学べることから学校教育や生涯教育にご利用ください。



▲日本の梅雨に関する教材

話題 全国から男鹿半島・大潟ジオパークにジオファンが訪れるワケ 「ダイナミックな日本列島のでき方を体感したい」

ジオパーク学習センターには、毎週のように全国から男鹿半島・大潟ジオパークについて学ぼうと人々が来館しています。人々の最大の目的は「日本列島のできかたを体感したい」ということ。そのための予習や復習のためジオパーク学習センターに来館しています。男鹿半島には、日本列島がユーラシア大陸にくっついていていた時代から日本列島が大陸から離れ始めた時代、そして日本海ができた時代、さらにそれ以降の時代の大地の動きが各ジオサイトを巡るとイメージできます。また大潟では干拓地に住む人々のストーリーを知ることができます。日本だけでなく海外からも訪れています。



▲学術団体の巡検

CHECK コラボ企画「ジオパーク★飛び出す絵本作り」教室 準備中!!

現在、公民館と学習センターのコラボ企画として「ジオパーク★飛び出す絵本作り」の準備を進めています。男鹿に残る昔話をもとにして印刷した点線通りに厚紙を切り抜いて飛び出す絵本を作ろうという企画で小学生が対象です。子どもたちには飛び出す絵の張り合わせと絵を描いていただきます。併せて男鹿の大地についても学びます。



充実した学習センターの学校教育向け教材

学校教育向けの教材が揃っています。ジオパーク学習センターには授業の一環として年間 20~30 校ほ



▲火山噴火実験



▲岩石標本観察

どの学校団体が来館していますが、授業目的に合わせ様々な体験学習を通して楽しく学ぶことができます。